

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じ、調べた事などについて、筋道を立てて話すことや話の中心に気を付けて聞くことができるようにするとともに、進んで話し合おうとする態度を育てる。 ・相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに適切に表現しようとする態度を育てる。 ・目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。 	
学期	学習内容・到達目標	学習内容・到達目標
前期	<p>人物の気持ちを想ぞうしながら声に出して読もう こわれた千の楽器 ふしぎ よかったなあ ・場面の様子や人物の気持ちを想像し、想像したことが聞き手に伝わるように工夫して声に出して読むことができる。 漢字辞典の使い方を知ろう 言葉の広場</p> <p>出来事をしょうがいするスピーチをしよう 知らせたい、あんなことこんなこと ・必要なことを落とさずに、声の大きさや速さ、間のとり方を考えて話すことができる。 お礼の手紙を書こう 主語と述語の関係をとらえよう 言葉の広場</p> <p>だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう ヤドカリとイソギンチャク ・段落相互の関係を考え、書かれていることを正しく読み取ることができる。 電話で伝え合おう 漢字の読み方に気をつけよう 言葉の広場</p> <p>物語のもり上がりを考えながら読もう 夏のわすれもの ・物語の出来事の流れを読み取り、もり上がりをとらえることができる。 自分新聞を作ろう</p> <p>すじ道を立てて説明しよう 「くらしの百科」の時間です ・「生活のくふう」について調べ、聞き手の興味をひくような工夫をして、筋道を立てて説明することができる。 ローマ字</p>	<p>愛の心をえがいた物語を読もう 世界一美しいぼくの村 ・人物の気持ちや場面の様子に注意して、物語の出来事の流れを読み取るとともに、読んだ本についての感想を伝え合うことができる。 心の目を開いて</p> <p>いろいろな環境を守るくふうについて調べよう ウミガメのはまを守る ・事柄のまとまりごとに書かれている内容を正しく読み取り、環境保護の工夫について調べることができる。 文と文をつなぐ言葉の働きを考えよう 言葉の広場</p> <p>中心をはっきりさせて書こう 活動ほう告を書こう ・段落と段落の続き方に注意して、伝えたいことの中心をはっきりさせて文章を書くことができる。 言葉の広場</p> <p>くらしの中の世界について話し合おう くらしの中の和と洋 ・「和」と「洋」の対比に注意して文章の要点を読み取り、暮らしの中にある日本の文化と外国の文化について考えることができる。 漢字を正しく使おう 言葉の広場</p> <p>人物の気持ちのうつり変わりを考えよう ごんぎつね ・場面の移り変わりや人物の気持ちの変化をとらえ、心に強く残ったことを考えることができる。</p> <p>伝えたいことを選んで書こう 一年間の思い出をしょうがいしよう ・一年間の思い出から題材を選び、方法を工夫して書くことができる。 ローマ字</p>

国語科の評価

・国語科では五つの観点で評価します。

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
国語に対する関心を持ち、進んで話し合ったり、適切に書いたり、読書の範囲を広げたりしようとする。	相手や目的に応じ調べたことなどについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたりする。	相手や目的に応じ調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係を工夫して文章を書く。	目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。	音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。書写では文字の大きさ、配列、毛筆では、点画の接し方、交わり方、方向、文字の組み立て方などを理解して文字を正しく書く。

・次のような方法で見えていきます。

発表内容	ノート	音読	テスト	発表会	作文	感想文	音読の観察	クイズ	読書カード
------	-----	----	-----	-----	----	-----	-------	-----	-------

おうちの方へ

音読は、学習の基本であり、より多くの人からの肯定的評価が意欲の継続につながります。家庭のご協力をお願いします。学習内容の定着を図るため、漢字ドリルや学習プリントなどを活用します。家庭学習にも取り入れます。読書は、国語の基礎的な事項の定着、情緒的な面の育成、情報収集のための活用等からも重要であり習慣化することが大切です。